

令和4年度 小平市立小平第六小学校 学校評価計画表								
学校教育目標		①元気でじょうぶな子 ③仲よくできる子		②よく考えてやりぬく子＜重点目標＞ ④進んで働く子				
目指す学校像(ビジョン)								
【目指す学校像】		できる喜び、わかる楽しさを味わい、みんなの笑顔が輝く学校						
【目指す児童・生徒像】		自分の思いや願いをもち、表現できる子ども						
【目指す教員像】		明るく愛情にあふれ、学び続ける教師						
前年度までの学校経営上の成果と課題								
[成果]児童が自ら課題解決に向けて学習する力、自らの考えを友達と表現し合うことで考えを深める力が高まった。 [課題]感染症対策を継続し、体力づくりに向けた校内の取り組み環境を整える。校内研究を通じ、一層の児童の表現力の向上を目指し、学びに向かう姿勢と自主学習の定着を確かなものにしていく。								
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標		成果指標		
学 力 向 上	共に学び合う楽しさが実感できる授業を展開し、基礎・基本の定着を図る。	学力状況調査などの結果を踏まえ、主に算数の基礎・基本の定着を図る。	算数習熟度委員会や東京ベーシックドリルの診断シートを2回実施し、学力の実態を把握する。それを踏まえ算数の授業(既習事項の復習)、算数タイム、家庭学習、放課後補習等の時間を利用して取り組ませ、基礎・基本の定着に努める。	4	教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4	児童の達成率で児童が80%以上	
				3	教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3	児童の達成率で児童が70%以上80%未満	
				2	教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2	児童の達成率で児童が60%以上70%未満	
				1	教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	1	児童の達成率で児童が60%未満	
	学習に対する意欲や主体性を高める。	児童の学習意欲を高めるために授業の導入の仕方を工夫し、共に学ぶ楽しさを実感できるように指導方法の改善に努める。算数を主とした問題解決型の学習の中で、児童の主体性や思考力・判断力・表現力の向上を図る。	児童の学習意欲を高めるために授業の導入の仕方を工夫し、共に学ぶ楽しさを実感できるように指導方法の改善に努める。算数を主とした問題解決型の学習の中で、児童の主体性や思考力・判断力・表現力の向上を図る。	4	教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上	4	児童の自己評価で、肯定的回答80%以上	
				3	教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3	児童の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	
				2	教職員の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2	児童の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満	
				1	教職員の自己評価で、肯定的回答60%未満	1	児童の自己評価で、肯定的回答60%未満	
体 力 向 上	健康で健やかな子どもを育てるとともに、安全に対する意識と態度を育てる。	巧緻性・力強さ・体力の向上を図る。	体育授業の指導の共有や業間体育の活用により、児童の多様な動きや体力の向上を図る。また、ボールや長縄、竹馬、鉄棒などの運動環境を整え、運動の日常化を図る。	4	教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4	児童の自己評価で、肯定的回答80%以上	
				3	教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3	児童の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	
				2	教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2	児童の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満	
				1	教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	1	児童の自己評価で、肯定的回答60%未満	
	運動に対する意欲を高める。	ソトスロンや六小ギネス、ダンスロンや各種運動集会の内容を充実させ、児童に体を動かすことの心地よさを味わわせる。体操やなわ跳び、ダンスなどに児童自らが取り組む仕組みづくり、家庭での運動の習慣化を図る。	ソトスロンや六小ギネス、ダンスロンや各種運動集会の内容を充実させ、児童に体を動かすことの心地よさを味わわせる。体操やなわ跳び、ダンスなどに児童自らが取り組む仕組みづくり、家庭での運動の習慣化を図る。	4	教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4	児童の自己評価で、肯定的回答80%以上	
				3	教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3	児童の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	
				2	教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2	児童の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満	
				1	教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	1	児童の自己評価で、肯定的回答60%未満	
健 全 育 成 (いじめ防止)	心の教育の充実を図るために、規範意識や人を大切にすることを育成すると共に「いじめ防止」に努める。	「自分も友達も安全に楽しく学校生活を送れるようにする」という視点で、心も体も自ら健康にする力や他人を思いやる気持ちを高める。学校・学級が楽しいと思える気持ちや自尊感情や自己有用感を高める。	「自分も友達も安全に楽しく学校生活を送れるようにする」という視点を取り入れた道徳授業や特別活動を実施する。毎月のいじめ実態調査や年3回のふれ合い月間を通して、いじめの未然防止、早期発見・解決に努める。	4	教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4	児童の自己評価で、肯定的回答80%以上	
				3	教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3	児童の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	
				2	教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2	児童の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満	
				1	教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	1	児童の自己評価で、肯定的回答60%未満	
	教職員が共通理解を図った生活指導に取り組み、規範意識を高める。	年度当初に教職員で六小スタンダードを確認する時間を設定し共通理解を図る。児童には毎月の生活朝会や安全指導内容を工夫し、規範意識を高め、「自分はどう行動したらよいのか」を自ら考えられるように指導していく。	年度当初に教職員で六小スタンダードを確認する時間を設定し共通理解を図る。児童には毎月の生活朝会や安全指導内容を工夫し、規範意識を高め、「自分はどう行動したらよいのか」を自ら考えられるように指導していく。	4	教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4	児童の自己評価で、肯定的回答80%以上	
				3	教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3	児童の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	
				2	教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2	児童の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満	
				1	教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	1	児童の自己評価で、肯定的回答60%未満	
特 色 あ る 活 動	地域の教育力と学校教育活動をつなぐ組織を活用して教育活動を進める。	小・中で共通理解を図り、二中学校区の取組の充実を図る。	年3回の小・中連携の日を活用し、二中学校区の重点項目について共通理解を図り取り組む。また、二中学校区共通プログラム「あいさつ運動」に中学校と連携して取り組み児童に「地域でのあいさつ」を意識させる。	4	教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4	第6学年児童の自己評価で、肯定的回答80%以上	
				3	教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3	第6学年児童の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	
				2	教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2	第6学年児童の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満	
				1	教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	1	第6学年児童の自己評価で、肯定的回答60%未満	
	コミュニティ・スクールの良さを生かし、取組の充実を図る。	学校経営協議会と連携して、学校をより良くするために毎月の学校経営協議会で共通理解を図り、取り組む。学習支援ボランティアやNPO法人・地域人材を活用し、指導の充実に努める。	学校経営協議会と連携して、学校をより良くするために毎月の学校経営協議会で共通理解を図り、取り組む。学習支援ボランティアやNPO法人・地域人材を活用し、指導の充実に努める。	学校経営協議会と連携して、学校をより良くするために毎月の学校経営協議会で共通理解を図り、取り組む。学習支援ボランティアやNPO法人・地域人材を活用し、指導の充実に努める。	4	教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4	保護者の肯定的回答80%以上
					3	教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3	保護者の肯定的回答70～79%
					2	教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2	保護者の肯定的回答60～69%
					1	教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	1	保護者の肯定的回答60%未満
	給食と食に関する指導の充実を図る。	食に関する年間計画(学年別)に沿って進め、児童が本物と出会い様々な体験を通して、食の楽しさや大切さを感じ苦手な食品や料理を少なくしようと努力したり、「食」を大切にしようとする態度を育てる。	食に関する年間計画(学年別)に沿って進め、児童が本物と出会い様々な体験を通して、食の楽しさや大切さを感じ苦手な食品や料理を少なくしようと努力したり、「食」を大切にしようとする態度を育てる。	食に関する年間計画(学年別)に沿って進め、児童が本物と出会い様々な体験を通して、食の楽しさや大切さを感じ苦手な食品や料理を少なくしようと努力したり、「食」を大切にしようとする態度を育てる。	4	教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4	保護者の肯定的回答90%以上
					3	教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3	保護者の肯定的回答80～89%
					2	教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2	保護者の肯定的回答70～79%
					1	教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	1	保護者の肯定的回答70%未満
	算数科を中心に、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。(小平市研究推進校指定)	研究発表会により、研究成果を市内の小中学校や地域と共有を図る。	研究推進部を中心に、校内研究の各学年の取組みをまとめて研究成果を分析する。成果と課題をもとに、日々の指導に修正を加え児童の指導に生かす。	研究推進部を中心に、校内研究の各学年の取組みをまとめて研究成果を分析する。成果と課題をもとに、日々の指導に修正を加え児童の指導に生かす。	4	教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4	児童の自己評価で、肯定的回答80%以上
					3	教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3	児童の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満
					2	教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2	児童の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満
					1	教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	1	児童の自己評価で、肯定的回答60%未満
業 務 改 善	勤務時間管理と健康管理を意識した働き方を推進する。	業務改善に向けての働き方について、具体例を共通理解して実践する。	連絡事項はメールを活用し、会議時間を短縮する。学年で教材研究を行い、資料を共有する。短縮できた時間を児童と向き合う時間にあて、教育活動の充実を図る。	4	教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4	教職員の達成率が90%以上	
				3	教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3	教職員の達成率が80%以上90%未満	
				2	教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2	教職員の達成率が70%以上80%未満	
				1	教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1	教職員の達成率が70%未満	